



未来探究祭 2024

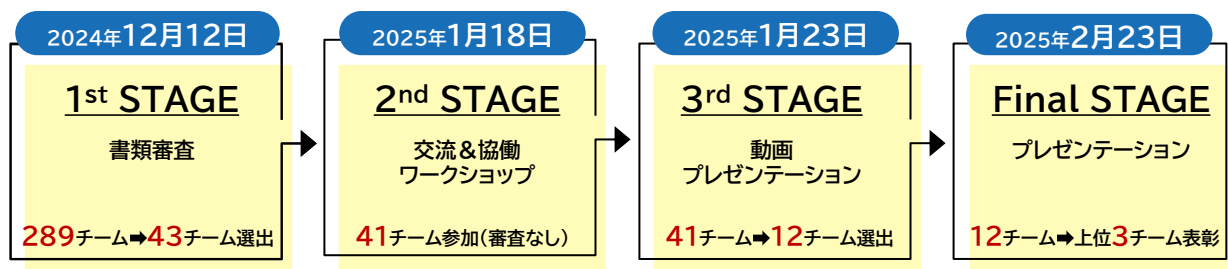


未来探究祭^{さい}とは？

中高生がデータを活用しながら地域探究を行う授業パッケージ「未来探究ゼミナール」。その受講校が参加できる成果発表の場が「未来探究祭」です。2024年度は、全国から289チームのエントリーがありました。

- 主催：一般社団法人 次世代教育ネットワーキング機構
- 運営：株式会社 JTB

審査スケジュール・内容



I 1st STAGE ~授業で考えた内容をエントリーシート、成果物にまとめる~

エントリー289チーム(昨年比357%)から提出のあった、①エントリーシート ②未来探究ゼミナールで作成した成果物(ポスター・スライド)をもとに、2nd STAGEに進む43チームが選出されました。

I 2nd STAGE ~オンライン交流会 / 学校の枠を超えた、他校生徒との交流・協働ワーク~

2025年1月18日(土)

オンライン開催 14:00-17:00

参加14校 | 中高生129名

※都道府県コード順

北海道 北海道岩見沢東高等学校	福井県 福井県立金津高等学校
茨城県 茨城県立勝田中等教育学校	福井県 福井県立敦賀高等学校
埼玉県 埼玉県立熊谷高等学校	愛知県 愛知県立岡崎商業高等学校
埼玉県 西武台高等学校	大阪府 四天王寺中学校
東京都 成立学園高等学校	大阪府 東海大学附属大阪仰星高等学校 中部部
神奈川県 浅野高等学校	兵庫県 東洋大学附属姫路中学校
神奈川県 北鎌倉女子学園高等学校	福岡県 八女学院高等学校



\\ ご当地グルメバトル //

3校の生徒で構成されたブレイクアウトルームで、3県の有名な食べ物を掛け合わせた『訪日外国人観光客向けのスペシャルグルメ』を考えていただきました。考えたグルメは全体発表を行い、生徒による投票を経て、一番食べてみたいスペシャルグルメNo.1が選ばれました！考えていただいた25のスペシャルグルメは、グラフィックレコーディングにてイラスト(右)を作成し、Final STAGEの会場に掲示しました。

ちややまっちゃんいぢぢはごろも



ビーフかつあげパン



chint

I 3rd STAGE ~発表動画の制作~

2nd STAGEに参加した41チームが作成した発表動画をもとに、審査員による審査が行われ、12チームがFinal STAGE進出となりました。



Final STAGE進出校

※以下、発表順で記載

- 01 西武台高等学校 ▶ む～おか
- 02 東海大学付属大阪仰星高等学校 中部部
▶ 福岡なめんなよ！！
- 03 埼玉県立熊谷高等学校 ▶ 熊谷高校78a
- 04 茨城県立勝田中等教育学校 ▶ OCEAN
- 05 福井県立金津高等学校 ▶ 未来予想班

審査員

※敬称略

- 加藤 諒 (国立大学法人 一橋大学大学院 ソーシャル・データサイエンス研究科 准教授)
仙田 直人 (成蹊中学・高等学校 校長)
田中 康平 (株式会社ネル・アンド・エム 代表取締役)
中野 憲 (一般社団法人次世代教育ネットワーキング機構 理事・事務局長)
松本 慕美 (株式会社白草 代表取締役)

2025年2月23日(日)

東京大学伊藤謝恩ホール 12:00-17:00

参加10校 | 中高生47名

書類・動画審査を勝ち進んだ10校12チームの生徒たちが、東京大学伊藤謝恩ホールに集まり、ステージ上で5分間の発表と審査員との質疑応答を行いました。また2nd STAGEに続き、他校生徒との交流会として「未来を共創するワークショップ」に参加していただきました。

- 06 浅野高等学校 ▶ 南九州コース15班
- 07 東洋大学附属姫路中学校 ▶ SHOK
- 08 西武台高等学校 ▶ めんだこ
- 09 北鎌倉女子学園高等学校 ▶ ワンニャン子そば
- 10 西武台高等学校 ▶ ドライブメイト
- 11 四天王寺中学校 ▶ 慈母観音Five
- 12 愛知県立岡崎商業高等学校 ▶ 中モテ製作委員会

他校生徒との交流会

～ 未来を共創するワークショップ～

気球による宇宙遊覧プロジェクト“OPEN UNIVERSE PROJECT”を主催する岩谷技研によるワークショップを開催しました。岩谷技研が挑戦している事、キャッチコピー「週末、宇宙いく？」の誕生秘話やネーミングのコツなどをお話いただきました。ワークの時間では、4～5校の生徒で構成されたチームにて、世界初の「気球での宇宙遊覧フライト第一号機」のネーミングを考えていただき、全体へ発表。ネーミングに対して、岩谷技研の方よりコメントもいただき、嬉しそうにされている生徒さんがとても印象的でした。



受賞者

今年度は審査員とは別にJTBツーリズムビジネスカレッジの学生も審査に参加し、学生目線から見て発表内容に共感できたチームに「JTBツーリズムビジネスカレッジ賞」を贈呈しました。また審査員による審査もスコアが僅差だったため、2チームに銅賞を、そして三賞に準ずる結果を納めた2チームに「審査員特別賞」を贈呈することとなりました。



【学校名】 埼玉県立熊谷高等学校

【チーム名】 熊谷高校78a

【キャッチコピー】

長距離バス路線で観光客も地域住民にも便利な埼玉に



【学校名】 西武台高等学校

【チーム名】 めんだこ

【キャッチコピー】

やさしい五島



【学校名】 愛知県立岡崎商業高等学校

【チーム名】 中モテ製作委員会

【キャッチコピー】

二次元でも盛り上げる岡崎



【学校名】 西武台高等学校

【チーム名】 ドライブメイト

【キャッチコピー】

勝ち組は移動中すら暇じゃない



審査員特別賞

【学校名】 東洋大学附属姫路中学校

【チーム名】 SHOK

【キャッチコピー】

地域の味わいをみんなに届ける



審査員特別賞

【学校名】 福井県立金津高等学校

【チーム名】 未来予想班

【キャッチコピー】

私たちが住むあわら市の象徴であるあわら温泉に来る観光客の増加、リピートをしてもらうためのPR



JTBツーリズムビジネスカレッジ賞

【学校名】 浅野高等学校

【チーム名】 南九州コース15班

【キャッチコピー】

さあ行かう一家をあげて熊本へ

審査員総評より

3rd STAGEからFinal STAGEに移る過程で、皆さんのプレゼン力はものすごく上がりました。

そして、中学生から高校生までの幅広い年齢の生徒がこの大会を作り上げてくれたことに

本当に感謝しています。

自分たちで「何故?」と思い、様々なデータを調べ、インタビューも行ったうえ、こうでもない、ああでもない、と考え抜いた仮説がきっと成果に繋がるのです。

そのためにも、右手にロジック(論理立てて)、左手にレトリック(効果的に伝える)、を是非とも忘れないで、これからも頑張ってください。そして後輩にも伝えていってください。

(審査員 成蹊中学・高等学校 校長 仙田直人)



【お問い合わせ先】

未来探究祭 運営事務局

(株)JTB 企画開発プロデュースセンター内

担当：太田・濱野・齊藤・小尾・小野

メール：miratan01@jtb.com

電話：03-6704-5527

未来探究祭

